

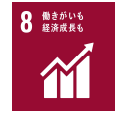
経営企画部長目標（令和7年度組織目標）

● 経営企画部長 鈴木 明彦（すずき あきひこ）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 8 働きがいも経済成長も
- 11 住み続けられるまちづくりを



● 経営企画部の仕事

経営企画部は、企画総務課、経営企画課、広報課、デジタル戦略課の4課で構成され、総合計画その他重要施策の企画・調査及び調整、組織及び事務管理、行政経営、公民連携推進、基地返還、人権及び男女共同参画、国際交流、広報、デジタル戦略に関することを主な仕事にしています。

● 経営企画部の目標

令和7年度においては、地域活力の維持・向上を目指し、今後の本市のまちづくり方向性を示す「（仮称）第3期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。また、中核市移行に向けた準備を着実に進めるとともに、DXにより仕事の進め方の見直しを図ります。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	「（仮称）第3期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定事業	現行の第2期所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略が令和7年度をもって終了することから、令和8年度から令和12年度までの5年間を計画期間とする第3期戦略を策定します。	本市の将来都市像の実現を目指すとともに、「こどもを中心としたまちづくり」「中核市への移行」を着実に進め、地方創生の取り組みを加速化していけるような戦略を、本年度中に策定します。	第3期総合戦略について、自治基本条例推進委員会において審議を行い、素案のパブリックコメント手続を実施しました。その後自治基本条例推進委員会からの答申を受け、令和8年3月に策定しました。
2	中核市移行準備事業	これまで以上に住みやすい所沢市の実現のため、中核市移行を目指し、必要な準備を着実に進めていきます。	令和12年度の中核市移行を実現するため、移譲事務の調整や人的措置の方向性の整理を進めます。	令和8年度から川越市へ事務職、薬剤師を派遣することが確定しましたので、必要な事務手続等を進めました。また、移譲事務及び組織体制については、引き続き県との調整を行っています。
3	DX推進事業	各所管と連携し、デジタル技術を最大限に活用し、業務プロセスや仕事のあり方そのものの見直しを進めます。	DXの考え方により、業務の改善、職場環境の向上を図ります。	DX推進基本方針を改定し公開しました。基本方針に基づき効果的なDXを進めるため、令和8年度からの推進体制を検討するとともに、外部アドバイザーを登用するための準備を整えました。